

主な記事

ス テ ー ジ ア ッ プ

Stage Up

- ・環境・公害の歴史を後世に伝える
NPO法人 環境研究会かわさき
- ・布のえほん・布のおもちゃを届ける
ぐるーぷ・もこもこ
- ・2020(令和2)年度 講座・イベント
年間予定表(川崎市生涯学習財団)

詳細・他記事等

◆ 施設めぐり

- ・ミュージア川崎
シンフォニーホール
人が集まり、交わり、
そして響く場所
- ・川崎市橋リサイクル
コミュニティセンター
川崎市の3R
(スリーアール)を
推進する施設

◆ 財団情報

- ・2020年度 主な事業
川崎市生涯学習財団
- ・Stage Up
年4回発行へ
- ・お楽しみコーナー
クイズに答えよう!

◀1984年
油彩



<川崎百景>さとう菊夫シリーズ⑬ ニヶ領用水(多摩区中野島)

ニヶ領用水は、徳川家康より江戸近在の治水と新田開発の命を受けた小泉次太夫吉次が、地域の農民と力を合わせ、15年の年月を費やして慶長16(1611)年に完成しました。現在でも、ニヶ領用水の水を浄化し、流域の緑豊かな環境づくりを進め、暮らしのなかに息づく「水に親しめる川」として自然と語り合い、憩うことのできる広場とすることに、市民の熱い期待と共に、水と緑を守るため、多くの市民団体がボランティア活動にかかわっています。

【20数年～40数年前の川崎の四季、田園風景、名所、茅葺の民家、寺社仏閣等を描いてこられた、さとう菊夫さんの作品をシリーズでお届けします。シリーズ①～⑫は209号～220号】



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中野区今井南町28番41号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

http://www.kpal.or.jp/ E-mail:stage-up@kpal.or.jp



当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

環境・公害の歴史を後世に伝える NPO法人 環境研究会かわさき

環境・公害の歴史『かたりべ』として

NPO法人環境研究会かわさき(以降「同会」と略します)は、川崎がかつて経験した公害を現状まで回復させたことなどを「アーカイブズとして記録にまとめる」「過去を知り未来のよりよい環境の創造を目指す」「環境・公害の歴史の『かたりべ』としてこの経験を後世に伝える」などを目的に2012(H24)年4月に設立しました。

会員は、川崎環境局のOBを中心に現役の職員、他の自治体のOBも含めて大気汚染や水質汚濁などの公害対策に取り組んできた人たちです。

(会員数:2020年3月現在26名)



▲ 会員のみなさん

「川崎の環境 今・昔」を発行



▲ 第1巻 大気編・第2巻 大気汚染・自動車対策編
・第3巻 水環境編・第4巻 廃棄物編

※興味のある方は、E-mail でおたすねください。

同会では、環境に関心のある市民・中高生から新たに業務に携わる方までを対象にした「川崎の環境 今・昔」をシリーズで発行してきました。表やグラフ・写真を多数掲載し、分かりやすい冊子となっています。

第1巻 大気編(2014年9月_全43頁)

年度ごとの市内の出来事や行政の施策、国や県の動きをまとめる。1972年の市公害防止条例など重要項目には解説を加えた。

第2巻 大気汚染・自動車対策編(2016年1月_全64頁)

主に高度成長期の公害や、その後のディーゼル車排ガス問題への市の対策など。

第3巻 水環境編(2017年1月_全83頁)

水質汚染による漁業や養殖業への被害、人口増加に伴う生活排水の問題や下水道事業など。

第4巻 廃棄物編(2019年3月_全155頁)

「廃棄物対策の経緯と特徴」「年表と主な出来事」、参考文献、資料で構成。川崎市の廃棄物事業の立ち上げから、バキュームカーの開発によるし尿収集・処理、ごみの毎日収集・全量焼却時代からごみの減量化、再資源化の時代へ。

イベント&出前講座などで環境学習

年間を通して様々な活動を推進しています。イベントでは、環境すごろく「エコライフゲーム」や手づくり環境紙芝居、模型燃料電池車などを通じて、環境にやさしい生活スタイルや次世代エネルギーに関する知識を親子で楽しみながら学べます。



▲ 科学と遊ぶ幸せな一日

出前講座では、工都川崎の発祥から始まった公害問題とそれに対する市民や事業者の動きと行政が取り組んだ公害対策を解説する講座の他、各種環境対策に関する講座を行っています。さらにこれからの環境問題についても分かりやすく説明しています。

全国初の『バキュームカーの開発』・ 『一般廃棄物の鉄道輸送』

同会の井上俊明理事長・林久緒副理事長・吉川サナエ事務局長より同会の活動について伺いました。

「日本一厳しい大気汚染への総量規制は企業による



▲ (左から) 井上さん・林さん・吉川さん

公害防止技術や省エネルギー対策への取組みにつながり、それらは公害克服のための技術革新や産業活性化の契機となった。」と話します。

また、糞尿汲取り用のバキュームカーは1951(S26)年、川崎市が全国に先駆けて開発・導入し、その後、衛生的かつ効率的であるとの理由で全国へ普及しました。1955(S30)年に開発された機械式ごみ収集車も同様に瞬く間に全国に広



▲ クリーン川崎号(一日一往復)がりました。

一般廃棄物の鉄道輸送は1995(H7)年に全国初の取組として開始されました。北部地域で収集された普通ごみ、粗大ごみ、発生した焼却灰の一部を専用コンテナに載せた「クリーン川崎号」で梶ヶ谷ターミナル駅から南部の末広町駅まで鉄道輸送されています。この方法は輸送効率や安全性のみならず環境負荷の低減につながる施策となりました。

■ 問合せ NPO法人環境研究会かわさき
E-mail kanken_kawa@yahoo.co.jp

布のえほん・布のおもちゃを届ける ぐるーぷ・もこもこ

布のあたたかみに出会って40年!

ぐるーぷ・もこもこ(以降「同会」と略します)は、障害のある子どもたちや施設等へ布のえほん・布のおもちゃを作って届ける活動をしています。1979(S54)年「世界の布の絵本・さわる絵本展」で、布の絵本の世界の魅力にひかれた手作り絵本の仲間たちが集まり、同会が発足しました。

2019(令和元)年11月には、ぐるーぷ・もこもこ「40年あゆみ展」を開催しました。

同会は、麻生区の本部(会員48名)の他、横浜市青葉区(会員22名)、町田市(19名)、滋賀県湖南市(会員4名)に支部があり、それぞれの地域で活動をしています。

布のえほん・布のおもちゃ製作活動



▲ 布のえほん・布のおもちゃ製作

- ② 公共図書館・特別支援学級・老人福祉施設・トイライブラリー・社会福祉協議会等へ贈る布のえほん、布のおもちゃの製作
- ③ ボランティア育成講座への協力
- ④ オリジナル作品の作り方講習会
- ⑤ 作品の作り方本の発行
- ⑥ もこもこプレイルームの活動

川崎市北部地域療育センターで、「もこもこプレイルーム」を週1回開いています。センターに通ってくる子どもたちは、布のおもちゃで遊んでいます。気に入ったおもちゃは、家に帰ってからでも遊べるように貸出しもしています。

年に数回もこもこミュージカルを上演し、みんなで楽しく歌ったり踊ったりします。

役立つ布のえほん・布のおもちゃ

同会創設者の野口光世さんは、2019(H31)年3月24日、日本国際児童図書評議会「子どもの本の日フェスティバル」で「布のえほん40年」の演題で講演しました。

その講演記録には、ぐるーぷ・もこもこが川崎市で自閉症児の指導を担当する先生と一緒に作った布のえほん「なにをしているの?」を使った授業を見学した時のことについて書かれていました。

自閉症児を指導している先生の「カレーライスを何していますか」という問いかけに対し、「食べてます」と発した自閉症児の言葉に感動した先生が「うわーっ、『食べてます』って言ったよー」とその子を抱きしめている場面に出会ったそうです。

先生の根気よく続けてきた毎日の問いかけと、布で作った感触のいい教材が見事にマッチして、言葉がつながった教育的瞬間を運よく見学することができたことの紹介がありました。まさに、布のえほん(教材)の力に違いありません。

オリジナル作品が約300種

布のえほん・布のおもちゃのオリジナル作品は約300種あり、作品は日本国内だけでなく、海外にも紹介されています。



▲ 音の出る「おでかけブー!」

2011年と2017年の2回、世界バリアフリー絵本の推薦図書に布えほん2冊「おでかけブー!」「こんこんくしゃんのうた」が選ばれ、世界と日本で、巡回展が行われました。この2冊は国立国会図書館の永久保存リストにも登録されています。

これからも地域に根ざした活動を

代表の寺田弘子さん、副代表の松石範子さんに同会の活動について伺いました。大勢の方にえほんやおもちゃを届けたいのですが、製作にはとても時間がかかります。心をこめてつくった作品は、しっかりしていて、自信を持って贈ることができるそうです。

会員の高齢化に伴い実働会員数が減っていることや定期的に活動場所を確保することの課題もありますが、負担にならない程度に楽しみながら活動を続けるために、会員と話し合いをしながら、これからも地域に根ざした活動を継続していきたいと話します



▲ なにをしているの?

2011年と2017年の2回、世界バリアフリー絵本の推薦図書に布えほん2冊「おでかけブー!」「こんこんくしゃんのうた」が選ばれ、世界と日本で、巡回展が行われました。



▲ 「こんこんくしゃんのうた」

特集

2020(令和2)年度 講座・イベント年間予定表(川崎市生涯学習財団)

2020(令和2)年度の生涯学習財団の事業の中から、財団が主催している主な講座やイベントの開催時期を一覧にしました。
開催時期の2〜3ヶ月前から、講座等の募集を行っていますので、講座申込などの参考にご利用ください。

講座\月日	2020年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年 1月	2月	3月	
アカデミー (財団主催)	かわさき市民アカデミー 前期 地域協働講座 4/16～7/9			～身近な課題を学び、地域で生かす～ 前期 ①LGBT・さまざまな性 ②傾聴ボランティア ③家族・夫婦 ④セカンドライフ ⑤地域社会貢献			かわさき市民アカデミー 後期 地域協働講座 10月～1月 開講予定						
シニア／ 養成講座	寺子屋先生養成講座 1期 4/16～5/14 2期 5/20～6/10 3期 6月開催予定			あなたの知識や経験を 子どものたちの学習支援に 活かしませんか。 (各講座 全4回)			寺子屋先生養成講座 4期 9/2～9/23 5期 9/30～10/21 6期 10/28～11/18 7期 11/25～12/16			寺子屋先生養成講座 8期 1/8～1/29 9期 2/3～2/24			
										PCボランティア スキルアップ 研修(登録済の方)			保育 ボランティア 養成講座
キッズ／ 子育て				キッズ セミナー 7/20～23			島根県益田市(7月22～25日) 和歌山県古座川町(7月27～30日) 岩手県花巻市(8月1～3日) 長野県富士見町(8月3～6日)						
	なかはらママカフェ			ふれあい サマーキャンプ 7/22～8/6			川崎とは異なる訪問先の自然・文化・ 人々との交流を通して、心身ともに豊かな 体験ができます。			ボランティアのみなさんが、 お子さんを見守ります。 親同士のおしゃべりで情報交換・ 気分転換ができます。			
	親子リトミック(ベビークラス・幼児クラス)／ 新講座「こども体操」第1期(4/7～6/16 全10回)			子ども 陶芸教室			親子リトミック(ベビークラス・幼児クラス)／ こども体操 第2期			親子リトミック(ベビークラス・幼児クラス)／ こども体操 第3期			
スポーツ／健康	第1期 スポーツ教室 15教室:新講座「護身術」						第2期 スポーツ教室			第3期 スポーツ教室			
教養／ 文化	春の☆キラリ 文化教室			・風景写真 ・チーズを気軽に楽しむ ・色えんぴつ画入門 ・色えんぴつ画(中級者向) ・メディカルハーブ& アロマテラピー ・楽らく歌の教室			秋の☆キラリ 文化教室			冬の☆キラリ 文化教室			
	初心者 春の 陶芸教室 5/10～6/21			第Ⅱ期 陶芸教室(水 前期8/5～9/16、水 後期9/30～11/11)(各6回) 第Ⅱ期 陶芸教室(土 前期8/1～9/19、土 後期9/26～11/14)(各6回) 第Ⅱ期 陶芸「一般開放」(木・金)(月単位)			初心者 秋の 陶芸教室 9/6～10/18			初心者 冬の 陶芸教室 1/10～2/21			
	第Ⅰ期 陶芸教室(水4/1～7/8、土4/4～7/11)(12回) 第Ⅰ期 陶芸「一般開放」(木・金)(月単位)									第Ⅲ期 陶芸教室(水12/2～3/17、土12/5～3/20)(12回) 第Ⅲ期 陶芸「一般開放」(木・金)(月単位)			
	社会人学級 5/19～3/9 国語・数学 各年間30回												
	小説や評論、詩、短歌、俳句などを読みながら言葉の面白さ、奥深さを学びます(国語) ・四則計算と文字式・方程式、図形問題を中心に時々パズルを通して楽しく学びます(数学)												
	ランチタイム・ロビーコンサート毎月 12:10～12:40 4/21(火)・5/19(火)・6/18(木)・7/14(火)・8/27(木)・9/29(火)・10/29(木)						ランチタイム・ロビーコンサート 11月～3月(月1回 開催予定)						

※新型コロナウイルス対応等による変更もあります。詳しくは、ホームページ・電話等でご確認ください。

■問合せ 044-733-5560 川崎市生涯学習財団

施設めぐり

市内公的施設の紹介

幸
区

ミュージザ川崎シンフォニーホール

JR川崎駅下車徒歩3分、京急川崎駅下車8分
TEL 044-520-0100

▲舞台を囲む観客席と世界に誇る音響とパイプオルガン

人が集まり、交わり、そして響く場所

ミュージザ川崎シンフォニーホール(以降「ミュージザ」と略します)は、音楽によって、人が集まり、交わり、そして響く場所として、あらゆる人に音楽との多様な関わり方を提案し、川崎のまちを豊かに鳴らしていくことをめざし、JR川崎駅前という最高の立地に建つ音楽専用ホールとして、2004(H16)年7月1日「音楽のまち・かわさき」のシンボルとして誕生しました。

世界有数の音響を誇ることが評価され、著名なオーケストラによる公演が行われる音楽の殿堂としての地位を確立するなど、川崎市が進める「音楽によるまちづくり」に貢献しています。また、川崎市とフランチャイズ提携を結んだ東京交響楽団がミュージザを本拠地に川崎定期演奏会や名曲全集を開催しつつ、日々のリハーサルも含めて活動し、日本のトップランナーとして音楽芸術の創造・発信を行っています。

音楽鑑賞や音楽活動の場を提供・支援し、音楽にふれる楽しさや演奏する喜びを味わえたり、地域のホールとして親しみがもてるコミュニティプログラムに参加したりできます。

心やわらぐ場として

ミュージザ広報担当の前田明子さんは、「外国から来る指揮者や音楽家たちが、このように優れた音響のあるホールを自分の住む国にもほしい。」と、ミュージザを褒めてくれるそうです。「地域に密着し、顔の見えるホールになっていると実感する時があります。」



▲ 前田明子さん

川崎には、音楽大学が2つありアマチュア演奏家も多く、「音楽のまち・かわさき」の中心施設としてミュージザは多くの方に活用されています。」と話します。

毎年多くの方が来場する『こどもフェスタ』『ミュージザの日』『フェスタサマーミュージザKAWASAKI』では、ミュージザへ足を運んでくれる方が一人でも増えるように、楽しく音楽に親しむことができるイベントを数多く企画しています。

毎月開催している『MUZAランチタイム・コンサート』は、ワンコイン500円で演奏を聴くことができます。

「今後も、川崎にミュージザがあってよかったなあ…と市民に思ってもらえるように、心やわらぐ場づくりを進めていきたいです。」と、思いを語ります。

こどもフェスタ 2020
春5月4日～5日

0歳から入場可能、ゴールデンウィークは家族そろってミュージザへ

- ・オープンハウス(ホール無料開放デー、5/5)
- ・楽器体験
- ・音のワークショップ 等



▲ 楽器体験

ミュージザの日 2020
7月1日

7月1日はミュージザ川崎シンフォニーホールの開館記念日&川崎市の市制記念日。

家族で楽しめるオーケストラ・コンサートの他、まる一日遊べるイベントが満載です。

- ・ウェルカムコンサート「オーケストラ入門!」
- [指揮] 秋山和慶 [管弦楽] 東京交響楽団

[同時開催!地域のみなさんとつくる楽しいイベント]

- ・かわさきマイスターに教わるものづくり体験
- ・トレインフェスタ
- ・スタンプラリー
- ・かわさきいいまちマルシェ(朝どれ野菜や、川崎の人気スイーツ等を販売)



▲ ウェルカム・コンサート



▲ かわさき いいまちマルシェ

フェスタサマーミュージザKAWASAKI 2020
7月23日～8月10日

毎年恒例、真夏の音楽祭!日本のプロ・オーケストラが日替わりで熱演を繰り広げます。

本公演のほか公開リハーサルやミニコンサート、プレトークなど「もっと楽しむ」企画も大好評。ファミリー向けやジャズ等、幅広いラインアップも魅力です。

開催期間中「ほぼ日刊サマーミュージザ」を、スタッフが協力して発行しています。

MUZAランチタイム・コンサート
2020-2021シーズン

毎月さまざまなジャンルのアーティストが登場し、多彩な音楽をお届けしています。気軽に聴けると大好評。

12時10分～50分

全席自由¥500 12回セット¥4,800

■ 問合せ ミューザ川崎シンフォニーホール
広報担当 前田明子さん TEL 044-520-0100

橋リサイクルコミュニティセンター

田園都市線梶ヶ谷駅から徒歩15分、JR南武線
武蔵溝ノ口駅から市営バス溝23系統大原下車
TEL 044-857-1146

川崎市の3R(スリーアール)を推進する施設



▲ 橋リサイクルコミュニティセンター

川崎市橋リサイクルコミュニティセンター(以降「同センター」と略します)は、市民による廃棄物の再利用及び再生利用に関する活動の支援を行っています。ごみの減量・再資源化に取り組む市民の交流・実践の場となること、市民の環境学習の場になることで、資源循環型社会の構築を目的として、1993(H5)年10月に開設しました。

同センターでは、リサイクル品の引き取り、再生品(リサイクル家具)の無償提供、常設フリーマーケット、リサイクル講座等の事業を行っており、川崎市の3R(スリーアール)事業を先進的に推進し、市民の支援を行っています。

3Rとは、3つのRから始まる資源循環社会への取り組みを表したものです。
リデュース(Reduce)発生・排出抑制…
ごみを出さないようにして、
ごみを減らすこと。



リユース(Reuse)再利用…使えるものは、繰り返し使うこと。
リサイクル(Recycle)再生利用…ごみを資源化して、
再び利用することです。

リサイクル品の引き取り

古着・陶器類(新品のみ)・古本(リサイクル文庫回収BOX)、廃食用油・牛乳パック、廃蛍光管、小型家電、家具類等の回収を行っています。

不用になったリユース可能な家具類は、地域の生活環境事業所を通じて引き取っています。

※直接、同センターへの持ち込みはできません。

常設フリーマーケットコーナー



▲ 常設フリーマーケット(3階)



▲ エコぞうり

市民からの不用品を、フリーマーケットのスタイルで販売しています。さらに、各リサイクル教室で作った固形石けん・粉石けん・エコぞうり(写真)・ぼかし(生ごみから作った肥料)等の作品も販売しています。

再生品(リサイクル家具の無償提供)毎月40点

応募申込期間 毎月1日から第3日曜日11:00まで
(インターネット申込の場合、前々日の金曜日まで)

公開抽選会 毎月第3日曜日



▲ リサイクル家具の展示(3階) ※ホームページに品名・

展示:同センター3階でリサイクル家具を展示

申込方法:応募用紙またはホームページより

※応募条件:川崎市在住で18歳以上、1回の抽選で2点まで

写真・寸法を掲載

リサイクル講座

	教室名	内 容	曜日・時刻
1	新ワークショップ	時間の制約がなく好きなものの作りが楽しめる自由度の高い教室です	第3 土曜日 13時~16時
2	牛乳パック工作	牛乳パックから毎月違う作品を作ります	第3 火曜日 13時~16時
3	廃材の木工(初級) 廃材の木工(中級)	廃材を使い自由に作品を作ります。初級では、道具の使い方も学びます	第1 土曜日 初 13時~15時 中 10時~12時
4	裂き織り	卓上織り機を使い3ヶ月で織物を一つを作ります	第4 土曜日 13時~16時
5	エコぞうり① エコぞうり②	不用になったTシャツなどからぞうりを作ります	① 第4 日曜日 13時~16時 ② 第1 月曜日 13時~15時
6	紙すき	牛乳パックから作ったパルプではがきやしおりを作ります	(予約開催) 2時間
7	固形石けん作り 粉石けん作り	廃食用油から固形石けん・粉石けんを作ります(苛性ソーダ使用)	国 第2 金曜日 10時~11時 粉 第3 金曜日 9時~12時

※開催日は変更される場合があるので、必ず予約をしてください。

同センターを活用していただきたいです

柳澤修センター長は、「施設見学や体験学習事業、学校や公民館などへの出前授業も行っています。これからもリサイクル教室の充実、環境情報の発信基地としての役割、市民やボランティアとのさらなる交流&地域に密着した活動を推進したいと思います。同センターの活動を広く知っていただき、大勢の市民に同センターを活用していただきたい。」と話します。



▲ 柳澤 修 さん

施設利用について

■開館時間 午前9時~午後8時まで

(3階展示は、午後5時まで)入館無料・見学自由

■会議室・学習室の利用も可能(要予約)

■休館日 毎月第4水曜日(7月、8月は除く)

12月29日~1月5日

※第4水曜日が祝日の場合は翌日に休館

※見学の受け入れの際、案内など可能です。

詳細は直接施設にお問い合わせください。

財団
情報

2020 年度 主な事業 川崎市生涯学習財団

公益財団法人川崎市生涯学習財団は、市民の皆様の生涯学習の支援や高度で専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供するとともに、学校やNPO 法人、民間の方々との多様な連携により事業展開しています。

1 学習機会と施設の提供

① かわさき市民アカデミー協働事業

「市民大学」としての「かわさき市民アカデミー」の運営支援（事業広報・会場確保・対外活動支援等）を行い、市民の学習機会充実へ向けた活動支援

② ふれあいサマーキャンプ

児童生徒が友好自治体等と交流。豊かな自然や生活・文化にふれ、健全な青少年を育成する機会を提供

③ キッズセミナー・子ども陶芸教室

夏休みに「おもしろ科学」や「わくわく造形教室」、「陶芸」等楽しく充実した学習活動を提供

④ 施設の提供

生涯学習プラザ施設（多目的ルーム、会議室等）を学習会やミーティング、軽いスポーツの会場として提供



2 生涯学習活動支援

シニア世代の市民を対象に、学習成果を地域社会づくりや学校支援に活かすことを目的に実施

① 生涯学習ボランティアの養成・派遣

PCや保育の生涯学習ボランティア養成講座を開設し修了者を学校等へ派遣

② 地域協働講座の実施

かわさき市民アカデミーと協働で、地域や生活課題のテーマで連続講座を前期・後期に分けて実施

③ シニア活動講演会の開催

④ ママカフェ&ロビーコンサート

3 情報収集、情報提供及び調査研究

① 情報収集・提供 「講座・イベント、指導者人材や団体グループ情報の収集・提供、生涯学習相談 等」

② ホームページ「かわさきの生涯学習情報」発信

③ 生涯学習情報誌「StageUp(ステージアップ)」発行

4 多彩な体験講座

① スポーツ教室

② 文化教室

③ 陶芸教室

5 その他の事業 等

① 地域の寺子屋

② 社会人学級

③ 学校支援センター



Stage Up 年4回発行へ

今まで年間6回発行していた「Stage Up」ですが、今号より年間4回(4月、7月、10月、1月)発行となります。

P.1「表紙」今号より「川崎百景」とう菊夫シリーズを掲載

P.2-3「まち・ひと・多面体」

社会貢献、継続的な活動、地域における注目すべき取組を掲載

P.4-5「特集」川崎市の歴史や文化・生涯学習施設・全市的に取組む活動などを紹介

P.6-7「施設めぐり」情報ポケットを施設めぐりに統合し「働く人の思い・願い」等を紹介。1頁1施設として誌面を充実

P.8「財団情報」当財団の指定管理施設(大山街道ふるさと館・子ども夢パーク)を含めた事業や講座、お知らせを掲載。また、読者の声を聴くクイズを引き続き掲載。

7月号からは、送付数が半数ほどになります。当財団のホームページ「かわさきの生涯学習情報」には情報誌『Stage Up』のバックナンバーをすべて掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

◆お楽しみコーナー
Stage Up 233号
クイズに答えよう!

川崎北部地区から発生する普通ごみ等の一部は、梶ヶ谷貨物ターミナル駅から末広町駅まで専用コンテナを載せた「クリーン〇〇号」で鉄道輸送しています。下の〇にあてはまる言葉を入れてください。

『クリーン〇〇号』 ※ヒント P2

【応募方法】

①答え ②〒・住所 ③氏名 ④Stage Upの入手場所
⑤今号の誌面でよかった記事(理由)を書いて、はがき、FAX、Eメールで担当宛、応募してください。

※締切 2020年4月30日(木) 必着

※正解 ホームページ及び次号に掲載

※正解者3名に500円の図書カードを贈呈
(発表は発送に代えさせていただきます)

〒211-0064 中原区今井南町28-41

川崎市生涯学習財団 Stage Up (ステージアップ) 担当

E-mail: stage-up@kpal.or.jp

TEL 044-733-5811 FAX 044-739-0085

※個人情報、発送業務以外の目的では使用しません。

